

猫魔ヶ岳スノーハイク 山行報告

【山 域】 裏磐梯

【ルート】 猫魔ヶ岳スキー場センターハウス⇒リフト2基乗り継ぎ⇒猫魔ヶ岳前衛ピーク→猫魔ヶ岳→東尾根→猫魔ヶ岳スキー場センターハウス

【登山方法】 雪山登山

【日 程】 2020年2月22日(土) 天気 晴れ後曇り

【参加者】 CL 柘植 鈴木憲 平野 大木 澤田路 海保 小俣 秋本 加藤 高山 井上里 鈴木愛(記録)

【行 程】 千葉 5:00⇒東北道～磐越道⇒猪苗代磐越高原 IC⇒10:00 猫魔スキー場の駐車場 10:20⇒リフト2基を乗り継いでゲレンデリフトトップ 11:15⇒猫魔ヶ岳頂上 11:50 着⇒東尾根下降⇒スキー場西端のエキサイトスキャットチェア(上級者コース)のリフト降り場 12:55⇒センターハウス着 13:30⇒宿



ゲレンデマップ上での歩行ルート



地形図上での歩行ルート

【記録】

一昨年の今頃、猫魔ヶ岳を目指した時、悪天候で登れなかった。今年は猫魔ヶ岳に登れますように、素敵な霧氷に会えますようにという思いを持って参加希望した。麓のスキー場迄の道々、一昨年来た時よりずっと雪が少ないと感じながらスキー場の駐車場に着く。今日は青空も見え、ワクワク感が募りアウターを着たり登山靴を履いたり準備をする。そして駐車場発 10:20。

センターハウスを出た所で、現在は福島県に仕事で出向中のIさんと偶然出会う。久しぶりの再会にみんなな喜ぶ。Iさんは休日ということで猫魔にスキーに来た由。そこからは我々のスノーハイクにIさんも合流して一緒に周回することとなった。



猫魔スキー場に繰り出す



最初のリフトを上がったところ(右端Iさん)

Tリーダーから千葉を出発前に、リフト乗り継ぎの間の斜面（フォレストキャットチェア～ディープキャットチェア）と猫魔ヶ岳山頂からの東尾根の下りで、アイゼンを使うかもしれない由の連絡をもらう。でもその乗り継ぎの斜面はアイゼンを使わなくても次のリフトの乗り場まで行くことができた。



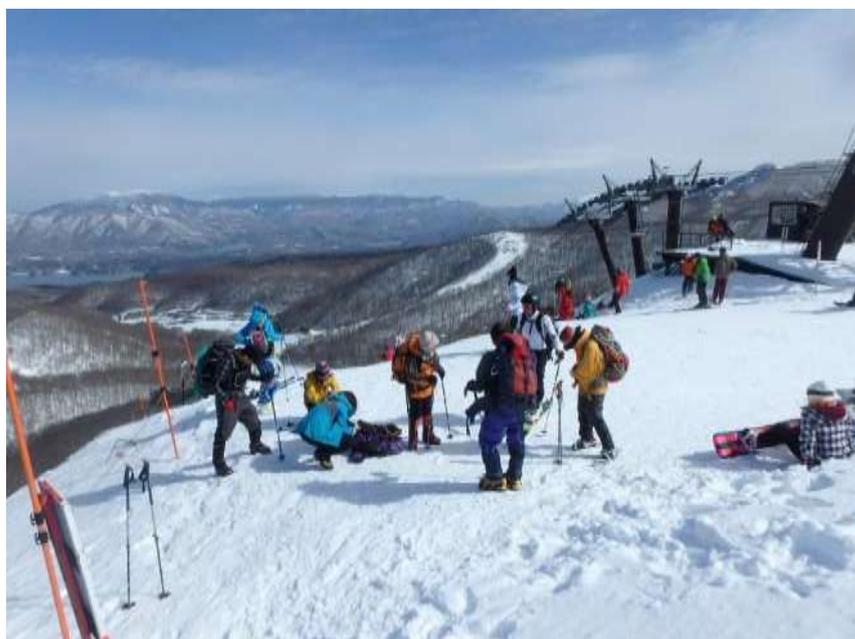
一旦ゲレンデを下る



ゲレンデハイク



さらにリフトで上がる



ゲレンデリフトトップに到着



まずはトラバース



弓なりに稜線を目指す

2基目のリフトを降りる。そこは磐梯山、檜原湖、西大巔、安達太良等々の山々が素敵に見え、嬉しくなる。2基目のリフトを降りた場所で、Tリーダーがこれから先の右側のトラバースする斜面の状態を見に行き、アイゼンを付けるように指示がある。アイゼン、スノーシュー（アイゼンの様な物がついている人）を付けて出発。トラバース後尾根に向かったの道は急登であった。

道々Hさんが「これはコシアブラの木、これはクロモジの木」等々教えてくれる。私はコシアブラは葉と枝を一緒に見ないと分からない。Hさんは色々な広葉樹の灌木がある中、分かるなんて凄いなと思いながら歩く。クロモジの木をほんの少しだけ折って匂いを嗅ぐ。とても良い香り。Hさん曰く「もっと大きなクロモジの木が沢沿い等には沢山ある、そういう大きな木から少し頂いて、クロモジ茶を作る、香りがよくて美味しい、この木はまだそんなに大きくないから頂けないね」と。いつか大きなクロモジの木に出会えたら、クロモジ茶を作ってみたいなと思った。



なかなかの急斜面



山頂を目指す



背後に飯豊連峰



白く輝く雄国沼



猫魔スキー場を取り囲む大パノラマ（雄国沼～飯豊連峰～吾妻連峰～安達太良山～磐梯山）

間もなく灌木がなくなり山頂までの稜線は両脇の山々が見えて気持ち良く歩く。そして猫魔ヶ岳の頂上に到着

11:50。檜原湖の後ろに西大巔が見える。K子さんが教えてくれる「西大巔のゲレンデがハート形に見えるでしょ。それが目印だよ」と。忘れないにしようと思う。大休憩をしながら猪苗代湖、飯豊連峰、安達太良山等々360度の素晴らしい眺望を楽しむ。



山頂手前の展望ピーク（背後は磐梯山）



猫魔ヶ岳山頂（背後は猪苗代湖）

下りは東尾根を下る。すっかり葉を落とした広葉樹林帯の急な下りの中を下る。ここが霧氷になっていたらなあと思いながら歩く。残念ながら全然霧氷は木々の枝についていない。私はずーっとアイゼンを付けてあるいていたので、安心して降りられたが、スノーシューでアイゼンについていないスノーシューの人はこの急坂を下る事に苦労していた。

そしてエキサイトキャットチェアのリフト乗り場でIさんと分かれる。Iはその上級者コースの急なゲレンデをいとも簡単に華麗に滑っていた。格好いいー！！

そして私達はセンターハウス着 13:30。ここでIさんと最後のお別れをする。センターハウスで、スノーシューのチケットカードの払い戻しの500円をもらい、駐車場に向かう。そして宿へ。14:30頃であったがチェックインをOKしてくれる。夕食前にちょっと宴会。山談義に花を咲かせ楽しいひと時を過ごす。



夜の宴の部



ボリュームたっぷりの夕食セット

夜になると風が強まってきて建物がきしむ音も。雪もかなり降ってきた様子で明日の行程が心配……